

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2007-537069(P2007-537069A)

【公表日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-513227(P2007-513227)

【国際特許分類】

B 3 2 B 5/04 (2006.01)

B 3 2 B 5/26 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/56 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 5/04

B 3 2 B 5/26

A 4 1 B 13/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月7日(2008.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

溶融エラストマーポリマー組成物を成形工具上に送達する工程と、
前記エラストマーポリマー組成物の溶融加工温度未満のロール温度に前記成形工具を維持する工程と、
前記エラストマーポリマー組成物の少なくとも一部上で溶融アンカーポリマー組成物を付着させる工程と、

前記アンカーポリマー組成物をベース基材の第1の主面に転送する工程であって、前記基材の第1の主面と前記アンカーポリマー組成物との接触を含む工程と、

転送後に前記成形工具から前記エラストマーポリマー組成物を分離する工程とを含む複合ウェブの製造方法であって、

前記ベース基材の第1の主面上に1個以上の弾性複合構造体を含む複合ウェブが形成され、各弾性複合構造体が2個のアンカーに取り付けられた弾性構成部品を含み、前記アンカーが前記アンカーポリマー組成物を含み、そして前記弾性構成部品が前記弾性ポリマー組成物を含む方法。

【請求項2】

ベース基材および弾性基材をニップルに送達する工程と、
前記ベース基材と前記弾性基材との間に溶融アンカーポリマー組成物を送達する工程とを含む複合ウェブの製造方法であって、

前記ベース基材の第1の主面上に1個以上の弾性複合構造体を含む複合ウェブが形成され、各弾性複合構造体が2個のアンカーに取り付けられたエラストマー構成部品を含み、前記アンカーが前記アンカーポリマー組成物を含み、そして前記弾性構成部品が前記弾性基材を含む方法。

【請求項3】

第1の主面を含むベース基材と、

前記ベース基材の第1の主面に取り付けられ、各アンカーが前記ベース基材の第1の主面に取り付けられたアンカーポリマー組成物の集団を含む2個のアンカーと、

前記2個のアンカー間に取り付けられて延在し、エラストマーポリマー組成物を含み、前記2個のアンカー間で前記基材の第1の主面に取り付けられず、そして前記2個のアンカー間の前記ベース基材の伸長によって伸長される弾性構成部品とを含む弾性複合構造体。

【請求項4】

前記ベース基材の第1の主面が多孔性表面を含み、そして前記多孔性表面が前記アンカーの前記アンカーポリマー組成物の少なくとも一部によって浸透される、請求項3に記載の弾性複合構造体。